

ID		氏名		年齢		性別	
検査部位		検査種		検査日		読影医師	

依頼内容：腹部スクリーニング

#### 腹部造影CT

膵臓：膵鉤部に径1.7x1.0x2.7cmの瓢箪の様な形状の嚢胞性腫瘍がみられます。

この病変には主膵管から管状構造が連続しています。主膵管は頭体部を中心に約5mmに拡張しています。混合型膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）が疑われます。嚢胞内に充実性部分はみられず、今回のCTでは悪性所見はみられませんでした。併せて、MRCPでの評価もお勧めします。

また、膵管内乳頭粘液性腫瘍は膵臓以外の他臓器に、腫瘍を合併する頻度が高いことも知られていますので、CT検査による胸部の検索に加え、胃や大腸の内視鏡検査を併せて行うことをご検討ください。

リンパ節：傍大動脈領域や骨盤内に転移を疑うような腫大リンパ節はみられません。

肝臓：肝実質の吸収値がびまん性に低下しており、脂肪肝です。

肝臓内に腫瘍はみられません。肝内胆管の拡張はみられません。

胆嚢：微小な結石が多数みられます。緊満感を伴う腫大や壁肥厚、周囲の炎症所見はみられず、現在の活動性炎症はありません。

総胆管結石や拡張はみられません。

脾臓：腫大なし。

腎：水腎症なし。腎臓の実質は保たれており、腫瘍はみられません。

尿路結石はみられません。

膀胱に異常はみられません。

前立腺に腫大や異常濃染域はみられません。

腸管に病変はみられませんでした。

腹水貯留なし。

診断：①混合型膵管内乳頭粘液性腫瘍疑い：MRCPでの評価をお勧めします ②脂肪肝 ③胆石

#### キー画像

